

【各教科等のグランドデザイン】

教科名

芸術

何ができるようになるか

○各教科等で育成する資質・能力

- (1) 芸術の表現や鑑賞について豊かな知識を持ち、作品を意図に基づいて効果的に表現できる。
- (2) 作品等の表現形式や価値について、自ら課題を見いだし協働しながら、創造的に考えたり、表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わったりすることができる。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情と、心豊かな生活や社会を創造していかうとする資質・能力を身に付ける
- (4) 日本及び諸外国の作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じとり、グローバルな視野で、それぞれの国の芸術のよさや美しさについて、考え、表現することができる

何が身に付いたか

○各教科等の学習評価

- (1) 芸術の表現や鑑賞について豊かな知識を持ち、作品を意図に基づいて効果的に表現できる技能
- (2) 作品等の表現形式や価値について、自ら課題を見いだし協働しながら、創造的に考えたり、表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わったりすることができる力
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情と、心豊かな生活や社会を創造していかうとする資質・能力
- (4) 日本及び諸外国の作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じとり、グローバルな視野で、それぞれの国の芸術のよさや美しさについて、考え、表現することができる力

生徒の実態

- ・ICT 機器などを活用しつつ、主体的に学ぶ機会や対話的に学ぶ機会が少なく、深い学びを実践している生徒が少ないことが課題である
- ・学校行事やキャリア形成活動において、主体的に活動している生徒が少ないことが課題である

生徒たちの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・個別の声掛けや、個に応じた授業の柔軟な対応
- ・配慮事項の正確な把握や、適切な環境の整備
- ・個別の教育支援計画や、教職員の組織的な連携

目指す生徒の姿

- ・教師や友人と協働しながら、学問のよさを理解するとともに、学び方を工夫しながら深い学びを実践しようとする生徒
- ・グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を持つ生徒

何を学ぶか

○各教科等の教育課程の編成

- ・芸術の基本的な表現や鑑賞の方法
- ・校歌的に表現する技能
- ・作品や文化遺産などから学ぶ美意識や創造性
- ・作品鑑賞をととした、それぞれの国の芸術のよさや美しさ

どのように学ぶか

○各教科等の授業の実施

- ・基礎から発展につなげることが学びの体系化(ICT を効果的に活用した個別最適な学びの実践)
- ・課題を見いだし、よりよい創造的な表現を考えながら行う作品制作
- ・発表や教え合いをととした、対話的・協働的で深い学びの実践
- ・美意識や創造性を感じたり、文化的背景や多様性を受容しながら行う、作品や文化遺産などの鑑賞

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・ICT機器の利用
- ・教科内研修
- ・外部の施設や組織との連携
- ・学級担任との連携

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」

- 芸術の各教科において、表現と鑑賞の探究的な活動をととして、作品の見方・考え方を深め、心豊かな社会を創造する態度と、芸術文化に親しむ豊かな情操を培う
 - ・【音楽】 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや音楽の文化的・歴史的背景などと関連付ける力を育成する
 - ・【美術】 課題ごとに作品制作という形で解答する 調査研究 アイディアスケッチの準備をととして制作プロセスを身につける 作品を読み解く能力の育成を図る
 - ・【書道】 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の表現や鑑賞の探究をととして、書の良さや美しさを捉え、東洋の伝統文化の現代的意義と、世界の中での効用を考える